

雄大なスケールの回遊式庭園

京都仙洞御所

KYOTO SENTO GOSHO



京都仙洞御所・庭園の南池にかかる八ツ橋



京都仙洞御所の見どころ

1

歴代上皇が愛でた
美しい庭園



後水尾上皇が御所を造営した際、仙洞御所と大宮御所でそれぞれ分かれていた庭園ですが、時代とともにつながって、一つの庭園となりました。春は桜やツツジ、秋は紅葉など、仙洞御所の庭園では季節ごとにさまざまな植物がお庭を彩り、美しい光景が見られます。

2

和歌や漢詩にちなむ
景観や古跡

江戸時代に、桜町上皇が歌人・冷泉れいぜいためむら為村に命じて仙洞御所の10の美しい景色の和歌を詠ませたものを「仙洞十景」と言い、現代にも伝わっています。庭園の中には、万葉歌人・柿本人麻呂かきのもとしやが祀られている柿本社や、平安時代の歌人・小野小町の伝承が残る草紙洗そうしあらいの石もあります。



3

異なる特徴を持つ
庭園建築



醒花亭

又新亭

回遊式庭園の御茶屋である醒花亭せいかにていは、くつろいだ雰囲気の中で宴会を行うための建物で、開放的でおおらかな空間です。対して、御茶室の又新亭またしんていは、作法を重んじる茶の湯に対応する建築空間となっており、2つの庭園建築の違いも見どころです。



